

### 県政の動き

6月3日(金)～8月10日(水)

- 6月3日(金)～7月24日(日) 錦江湾クリーンアップ作戦・夏の部
- 6月11日(土) 鹿児島県産牛乳・乳製品消費拡大キャンペーン
- 6月18日(土) ザ・漁師塾～漁師になるワークショップ～
- 6月19日(日) ★第7回「関西かごしまファンデー」における県特産品や観光のPR
- 6月19日(日) 九州新幹線全線開業「百日祝」出発式
- 6月30日(木) 大学生・短大生・若年者等のための就職面談会&就職講座
- 7月9日(土) 薬物乱用防止6・26 ヤング街頭キャンペーン
- 7月14日(木)～23日(土) ★九州・山口の近代化産業遺産群に係る欧州産業遺産の視察
- 7月15日(金) ★鹿児島県食の安心・安全シンポジウム
- 7月21日(木)～26日(火) ★第11回鹿児島物産展
- 7月21日(木)～30日(土) 夏の交通事故防止運動
- 7月21日(木)～8月7日(日) ★霧島国際音楽祭
- 7月23日(土) ★かごしま暮らし交流セミナー in 大阪
- 7月31日(日)～8月1日(月) ★第50回日本海洋少年団全国大会
- 8月1日(月) ★平成23年度漁業士認定証交付式
- 8月4日(木) 福祉・保健医療職場就職ガイダンス
- 8月5日(金) ★かごしまこども環境大臣任命式

★は写真入りで紹介

6月19日(日)

## 第7回「関西かごしまファンデー」における県特産品や観光のPR



京セラドーム大阪において「関西かごしまファンデー」が開催された。伊藤知事は、関西鹿児島県人会総連合会の稲盛会長や県議会副議長、県内市町村の首長らとともに、舞台セレモニーのステージに登壇し、本県特産品や観光の魅力をPRした。会場には約3万3千人が来場し、出展業者とお客さまの熱気であふれ、大変な賑わいとなった。

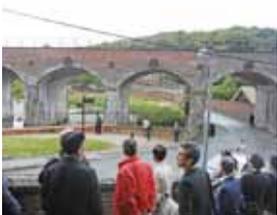
今年も九州新幹線全線開業により、鹿児島への旅行を検討される方が多く、鹿児島を訪問される方が多かった。今後、関西圏と本県との観光やビジネスの交流についても、さらに活発化するものと期待される。

7月14日(木)～23日(土)

## 「九州・山口の近代化産業遺産群」に係る欧州産業遺産の視察

今後、今回の視察で得られた成果を活かし、国や関係自治体などとの連携を深めながら、本遺産群の早期の世界遺産登録に取り組んでいく。

「九州・山口の近代化産業遺産群」世界遺産登録推進協議会(会長・鹿児島県知事は、「コーンウォールと西デボンの鉱山景観」など英国の世界遺産3カ所を視察した。英国においては、世界遺産としての保護を図りつつ、都市計画の一環として遺産を活かした街づくりを進めていること、NPOなど多様な主体が遺産の運営に関わっていることなど、参考となる事例を直接学ぶことができた。



## 鹿児島県食の安心・安全シンポジウム



県民の健康の保護を目的に、昨年制定された「鹿児島県食の安心・安全推進条例」に基づき、県民と一体となって食の安心・安全の確保に向けた取り組みを進めていくため、食の安心・安全シンポジウムをかごしま県民交流センターにおいて開催した。

リスフコミュニケーションをテーマに、内閣府食品安全委員会による基調講演とパネルディスカッションを実施し、一般の県民をはじめ、農林水産物の生産者や食品関連事業者など約200人が参加した。

県では、これを皮切りに県民を交えたリスフコミュニケーションの推進による食の安心・安全の確保に関する正確な情報の共有や相互理解を深め、県民と食に関わる関係者間の信頼関係の構築を図っていく。



## 霧島国際音楽祭



アジアを代表する音楽祭、第32回霧島国際音楽祭が8月7日、成功裏に閉幕した。

今年は、国内外の著名な音楽家58人を招へいし、みやまコンセルをメイン会場に、18日間にわたり、県内各地で58のコンサートなどを開催した。参加者は、過去最高の1万8409人を記録するなど、大きな盛り上がりを見せた。なかでも鹿児島島出身の下野竜也氏が指揮を執り、堤剛音楽監督と榎本大進氏が共演したキリシマ祝祭管弦楽団公演や、今回初めて実施したアーティストプロデュースによる「音楽の散歩」など、世界一流の音楽家が奏でる美しいハーモニーは、多くの方々を魅了した。

なお、今回の音楽祭は、新燃岳噴火、東日本大震災で被災された方々への応援イベントとしても開催し、義援金募集も行った。



## かごしま暮らし・交流セミナー in 大阪



鹿兒島への移住に関心を持った方を対象にした「かごしま暮らし・交流セミナー in 大阪」が大阪市で開催された。

セミナーには、24人が参加。西之表市、薩摩川内市、霧島市、伊佐市、瀬戸内町の4市1町が移住者への助成制度を説明したほか、実際に大阪から鹿児島に移住された方の体験発表などが行われた。

参加者からは、「鹿児島の魅力が十分に伝わった。移住を考えたい」、「まずは1週間程度、試しに行ってみたい」などの声が寄せられた。

なお、このセミナーは、9月に東京で、来年1月には再び大阪で開催を予定している。



## 第50回日本海洋少年団全国大会

海洋国家日本の次世代を担う青少年の健全育成などを目的として、(社)日本海洋少年団連盟の主催により、同連盟名誉総裁の高円宮妃殿下御臨席のもと、九州新幹線全線開業を記念して、第50回日本海洋少年団全国大会が鹿児島市で開催された。

全国大会は昭和54年以来32年ぶりに本県で開催され、国内外47海洋少年団の約760人が参加。鹿児島市鴨池公園水泳プールや鹿児島港本港区北ふ頭などの各会場において、手旗、ロープワーク、水泳、カッター、カヌーの5競技で日頃の訓練の成果を競い合った。



8月1日(月)

## 平成23年度漁業士認定証交付式

漁業士認定証交付式が8月1日、副知事室で行われた。平成23年度は、青年漁業士として橋口晋也さん(高山漁業協同組合)、指導漁業士として坂元茂教さん(かい糸い漁業協同組合)、阿久根英作さん(加世田漁業協同組合)の3人が認定証の交付を受けた。

漁業士は、地域の中核的な漁業者として活躍している方を認定するもの。現在、青年漁業士19人、指導漁業士40人、計59人の漁業士が県下各地で活躍している。



8月5日(金)

## かごしまこども環境大臣任命式

自然環境保護や環境保全活動を積極的に行う意欲のある子どもたちを対象に募集した「環境レター」の優秀賞6点が決定し、8月5日に作者である6人の子どもたちを「かごしまこども環境大臣」に任命した。

知事室で行われた任命式では、伊藤知事から6人の子どもたちに任命証が授与された。また、子どもたちは、自分たちで作成した「かごしまこども環境宣言2011」を発表し、鹿児島島の環境を今以上に素晴らしいものにするために、率先して植樹活動や海での清掃活動などを続けることや、多くの人々に自然を守ることを大切さを伝えることなどを宣言し、知事に宣言書を手渡した。

